

平成27年度 奈良市指定文化財の指定について

1. 指定までの経過

- 平成28年2月16日(火) 2月定例教育委員会において、奈良市指定文化財の指定について奈良市文化財保護審議会に諮問。
- 平成28年2月22日(月) 奈良市文化財保護審議会から市教育委員会あて答申。
- 平成28年3月16日(水) 3月定例教育委員会において、市指定文化財候補2件を奈良市指定文化財に指定。

この結果、奈良市指定文化財の総数は145件となった。

2. 指定物件 絵画1件(①)・彫刻1件(②)

① けんぼんちゃくしよくじゅうろくらかんぞう
絹本著色十六羅漢像 1幅

所有者：十輪院（奈良市十輪院町27）

十六羅漢が侍者などをともなって岩山に坐る情景を描いたもので、表現上の特徴から鎌倉時代末頃の作と考えられる。

奈良市内に伝来した中世の十六羅漢像の中でも、制作時期の比較的古い秀作として貴重。

② もくぞうじゅういちめんかんのんりゅうぞう
木造十一面観音立像 1軀

つけたり 附 けちえんきょうみょう 結縁交名 一括

内一片に建武元口の記がある

所有者：観音寺（奈良市六条一丁目35-10）

等身大の仏像であり、納入されていたけちえんきょうみょう結縁交名の紙片に「建武元□」（□は判読不能文字）と記されていることと、作風の特徴から、建武元年（1334）頃に南都仏師こうせいの康成が作ったと推定される。

南北朝時代初期の基準作として彫刻史上注目すべきもので、市内に所在する、中世の南都仏師の作風を伝える仏像としても貴重。



① 絹本著色十六羅漢像



② 木造十一面観音立像



結縁交名の内一片

捧加錢參十壹文 明圓
建武元□

奈良市所在の指定文化財等

平成28年4月1日

1. 指定文化財 1081 件

[件数]

分 類		国 指 定			県 指 定	市 指 定	総 数	
有 形 文化財	建 造 物 ()内は棟数	国宝 31 (35)	重要文化財 73 (109)	計 ※ 103 (144)	42 (82)	25 (30)	170 (256)	
	美 術 工 芸 品	絵 画	"	"	"	16	34	129
		彫 刻	"	"	"	35	31	330
		工 芸 品	"	"	"	16	8	167
		書 跡・典 籍	"	"	"	6	4	96
		古 文 書	"	"	"	5	0	45
		考 古 資 料	"	"	"	1	6	27
		歴 史 資 料	"	"	"	4	5	15
	小 計	国宝 128	重要文化財 614	計 ※ 741	小計 125	小計 113	小計 979	
無形文化財		重要無形文化財			1	1	0	2
民 俗 文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財			2	3	7	12
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財			3	8	3	14
記 念 物	史 跡	特別史跡 2	史跡 25	計 27	5	8	40	
	名 勝	特別名勝 2	名勝 6	計 8	0	0	8	
	天然記念物	特別天然記念物 1	天然記念物 5	計 6	6	14	26	
	小 計	特史名天 5	史名天 36	計 41	小計 11	小計 22	小計 74	
総 数		788			148	145	1081	

※ 合計件数が国宝及び重要文化財の各件数の和と一致しないのは、1件に国宝・重要文化財の両方を含むものがあるためである。

2. 登録有形文化財 91件
 (建造物 89件)
 (書跡・典籍 1件)
 (歴史資料 1件)

3. 選定保存技術 3件 [国3件、県0件]

4. 旧村指定文化財 75件 [旧月ヶ瀬村指定文化財31件、旧都祁村指定文化財44件]

* 国選定保存技術、県指定文化財、市指定文化財と重複している9件を除く。